

井上病院の実績（8月分）

外来患者数(平均)	救急搬入件数	手術件数		レントゲン			
		外科	整形外科	CT	MRI	MMG	ERCP
157.7人/日	49件/月	3件	12件	239件	69件	40件	0件

訪問診療	訪問看護	訪問リハビリ	内視鏡検査				平均在院日数	在宅復帰率
			上部	下部	EMR	ESD		
91件	237件	693件	161件	27件	2件	0件	一般病棟 15.0日 86.8%	
							地域包括ケア病床 14.4日 76.5%	
							緩和ケア病棟 24.8日 12.5%	

外来診療担当表

診療科目	曜日/時間帯	月		火		水		木		金		土
		午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前
外科	消化器 肛門 外科全般	院長	山元	院長	田中	外科(九大)	外科(九大)	院長	大内田(九大)	田中	井上浩/山元	田中/ 井上浩※3
	乳腺						院長★		院長★			院長★/ 九大★
内科	内科全般	久原 國弘 (10:00~)	國弘	増谷 高田(非常勤) (10:30~)	國弘	高田(非常勤) (10:30~)		高田(非常勤) (10:30~)	久原	國弘		國弘/※4 吉峯晃 (第4)
	血液腫瘍内科 内科全般					佐々木 (福大)		佐々木※2 (福大)				
	糖尿病	前田★	前田★	前田★	前田★ (~15時)			前田★	前田★	前田★		
	循環器	吉峯有★ (非常勤)	吉峯有★ (非常勤)	中村 (副院長)	(吉峯有)★ ※1	山元		中村 (副院長)			志賀★ (非常勤)	志賀★ (非常勤)
	呼吸器					藤田★ (福大)						
消化器内視鏡検査		増谷★	久原★	國弘★	増谷★	久原★	久原★	久原★		久原★	久原★	久原★/ 増谷★
整形外科 リハビリテーション科		深水	坂本★	小牧	坂本★	深水	深水	新井			坂本 小牧	整形 ※5 (非常勤)

★の時間帯は、予約制になっています。事前にお問い合わせください。予約受付時間:平日14時~16時
手術・学会出張等で変更となる場合がありますので、詳細につきましてはお電話などでご連絡ください。

※1 火曜日午後の吉峯有香医師の診療は月曜日が休日の場合の予備日となります。

※2 水曜日午後の佐々木医師の診療は月に1回休診になります。

※3 土曜日の外科診療は田中医師、井上浩医師が交替わりで担当になります。

※4 土曜日の内科診療は國弘医師が第1・2・3・5週、吉峯晃平医師が第4週の担当となります。

※5 土曜日の整形外科は医師が変更になることがあります。

※ 個人健診は月~木曜日の14時~16時までの受付となります。

※ 受付時間は16時(土曜:11:30)までとなります。急患に関しましては、この限りではございません。

ご不明な点等ございましたら、当院外来にお問い合わせください。

【診療受付時間】

平日:8:30~12:00、14:00~16:00
土曜:8:30~11:30



いのうえ通信 Vol.120 2024.10



病院理念

地域のみなさまが住み慣れた地域でニーズに沿った療養を継続できるよう、安心され、信頼され、共感を得られる組織づくりを目指します。

診療指針(私たちの役割)

『予防・早期発見・急性期~在宅復帰までの一貫した
ケア・ターミナルケアの実現』

- 当院は、かかりつけ医機能を持った身近な急性期病院としての役割を担い、救急医療、高次医療機関との連携、在宅支援に向けての地域連携などに努め、治し支える医療を実践します。
- 当院はがん拠点病院と連携を図り、がんの診断、治療から緩和医療、在宅支援まで質の高いがん診療を提供することに努めます。
- 当院は疾病予防、早期発見に向けての健診機関としての役割を果たすことに努めます。

目次

- ・ 下肢静脈瘤治療について.....2
- ・ 緩和ケア病棟について.....3
- ・ CR入替のお知らせ.....3
- ・ 井上病院実績報告4
- ・ 診療担当表4

井上病院における下肢静脈瘤の治療について

下肢の静脈血流は、下腿筋収縮による筋ポンプ作用などにより心臓まで還流されていますが、重力に逆らう血流であるため、逆流しないように静脈弁によって制御されています。

この静脈弁が壊れてしまうことにより逆流した血液が徐々に静脈内にたまっていき、下肢静脈が拡張することで、下肢静脈瘤を発症します。(図1)

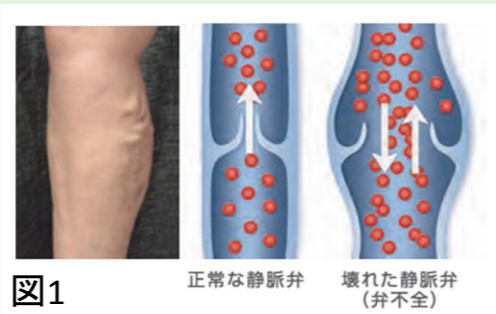


図1 正常な静脈弁 壊れた静脈弁(弁不全)

このように静脈弁に異常があり、静脈瘤を呈するものを一次的静脈瘤といいます。

一次的静脈瘤は、日本人全体の43%に認め、妊娠・出産を経験する女性は男性と比較して2.4倍程度の発症リスクがあると報告されています。その他の危険因子として、加齢・肥満・長時間の立ち仕事、遺伝(両親が静脈瘤の場合90% 遺伝する)などがあげられます。

症状は足のだるさ、おもさ、こむら返りなど様々ありますが、重症化すると湿疹や皮膚の硬化がすすみ“うっ滞性皮膚炎”を合併し、さらに悪化すると“潰瘍”になってしまいます。

予防法としては、立ち仕事が長時間におよぶ場合の弾性ストッキング着用やウォーキングなどありますが、進行した場合には手術の検討が必要になります。

循環器外科を受診された方は、問診や視診・触診に加え下肢静脈エコーを行い、異常のある静脈弁を同定し、手術の方針を決定します。

手術治療には、高位結紮術、ストリッピング術、血管内焼灼術、血管塞栓術などがありますが、当院では適応のある患者さんに対して、2024年8月から下肢静脈瘤血管内焼灼術(レーザー手術)を導入しています。(図2)



図2

レーザー手術では、静脈弁が壊れ逆流を起こしている血管に、カテーテルを挿入し、静脈を内側から焼灼します。

血管内焼灼術は、細いカテーテルを静脈内に挿入、レーザーで静脈を内側から焼灼し、静脈を閉塞することで逆流を制御します。焼灼した静脈は、半年～1年の経過で体内に吸収されます。また必要に応じて、数ミリの傷で行うことができる瘤切除術を追加します。日帰り手術を行っている施設も多くありますが、当院では術後の疼痛などを考慮し、1泊2日入院での治療を行っています。

最も重篤な合併症は、肺動脈血栓塞栓症が挙げられますが、この発生頻度は0.01～0.1%と言われており、基本的に安全な治療が可能です。

下肢静脈瘤をお持ちの患者様、下肢静脈瘤ではないかと疑われる患者様がいらっしゃいましたら、お気軽にご相談下さい。

お問い合わせ先: 井上病院外来
TEL(代表): 092-322-3437

緩和ケア病棟(なごみ)のご案内

緩和ケアとは、悪性腫瘍(がん)等で生活に支障をきたす身体や心の様々なつらさをやわらげ、より豊かな人生を送ることができるよう支えていくケアのことです。

緩和ケア病棟は、緩和ケアに特化した病棟で、がんを治すことを目標にした治療(手術、薬物療法、放射線治療など)ではなく、がんの進行などに伴う体や心のつらさに対する専門的な治療を行います。つらさ(身体・心)をコントロールしてできる限り普段通りに生活することを目標としますので、つらさが落ち着けば退院することもできます。

井上病院では在宅療養(自宅で受ける緩和ケア)もサポートしています。ご本人の身体症状が強いときなどは勿論の事、介護する方が疲れたりしたときにも入院することができます(レスパイト入院)。患者様が自分らしい生活を続けるために、「ほぼほぼ在宅、時々入院」を目指し、ケアマネジャーや訪問診療・訪問看護・訪問リハビリなどのスタッフとも連携を図り、「本人がどこで過ごしたいか」を大切にしています。



緩和ケア病棟なごみのご紹介

全室個室の16床を有しています。ご自身に合わせたタイムスケジュールや使い慣れた私物の持ち込み、食べ慣れたご家庭の持ち込み食などご相談に応じています。

面会時間は、11時から20時までとなっています(一度の入室は3名まで、マスク着用)。状況によっては、ご家族の付き添いや、ペットの面会も可能です。

この夏は屋上庭園にミニトマトを栽培し収穫を楽しんでいただき、味も「甘い! 美味しい!」と好評をいただきました。

糸島の景色を眺めながらご家族と穏やかに過ごしていただけるよう、17名の看護師(緩和ケア認定看護師2名含む)・看護助手を中心に医師、薬剤師、管理栄養士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、ソーシャルワーカーなど他職種のスタッフでサポートします。(2病棟)

胸部X線画像病変検出ソフトウェアを導入しました

当院では一般撮影においてCRをフラットパネルに入れ替えました。その際、胸部X線画像病変検出ソフトウェアを導入しました。

AI技術を用いたソフトウェアにより、胸部X線画像を自動解析し、疾患の疑われる領域を検出、マーキングします。検出対象は主な肺疾患の画像所見である結節・腫瘤影、浸潤影・気胸の3所見です。ヒートマップ表示機能: CXR-IDが候補領域の解析を行った後、0～100に応じた確信度を色分けして表示します。

スコア表示機能: 画像単位の解析結果として、画像内の確信度の最大値が数値で表示されます。

マーキングした領域を医師が再確認することで、見落とし防止が期待できます。

(放射線科)

